新入会員オリエンテーション

大阪代協が開催

27年度は84名入会

大阪代協（黒石光寿会長）は4月15日午後2時5分から大阪市北区の大阪代協会議室で新入会員オリエンテーションを開催し、新入会員と役員、支部長ら19名（うち新入会員9名）が参加した。

オリエンテーションのもよう

まず、黒石会長が挨拶に立ち、27年度は84名の新入会員が入り、会員数950名（4月5日現在）になったことを報告した。あと、次のように述べた。

「大阪代協は歴史、組織力、活動など全国一の組織（代協）だと自負しています。代協は健全かつ公正な募集環境作りや代理店の資質の向上、社会貢献などさまざまな活動に取り組んでいます。今後活動にぜひ参加してください」

このあと、自己紹介が行われ、新入会員から、「独立をしたばかりなので勉強をしていきたい」「保険の研修を受ける機会がなかなかないので活用していきたい」「営業や計上などすべてを一人でやり、日々悩んでいるところなので、その辺をご教示いただければ幸いです」などの話が出た。

オリエンテーションでは、嶋康仁副会長が大阪代協の活動についてプロジェクターを使いながら紹介。内容は、①大阪代協の組織②大阪代協の取り組み③大阪代協の各種委員会④損害保険大学課程⑤代理店賠責⑥全国損害保険代理業国民年金基金⑦各種提携事業―についてである。このあと、黒石会長が全国損害保険代理業政治連盟について目的や活動などを紹介した。

続いて、日本代協の取り組みについて、「代協は何をしたか？（魅力）」をテーマに日本代協・小出富晴副会長が、代理店、消費者、銀行窓販、郵政民営化、保険業法改正それぞれに対して取り組んだことを代協活動の現状と課題（27年度版）から抜粋し解説した。

最後に、山中昭平相談役が「代理店事務処理の歴史」をテーマに多岐にわたる内容について体験談などを交えながら話をした。